

科目名 Subject	エステティック I Esthetics I			教員名	エステチーム	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	2単位	
必修／選択	選択	授業形態	実習	時間	60時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	◎		○	○		
科目の概要	フェイシャルトリートメントの中のクレンジングとフェイシャルマッサージで基本となる6種類の手技（軽擦法・強擦法・揉撫法・打法・振動法・圧迫法）の目的と効果を理解し学び知識と技能を習得する。皮膚の基礎知識とフェイシャルエステティックにおける電気機器の効果、禁忌事項、使用方法を学びモデルの肌状態（改善する為の課題）に合った解決法を提示し、フェイシャル機器の選択と実施する。カウンセリングを行い様々な肌の悩みや要望や価値観、考え方を理解し受入れ、フェイシャル技術とスキンケアアドバイスを通して、お客様の肌の悩み等を解決へと導く方法を学ぶ。					
授業方法	対面授業を基本とし、状況によってオンライン授業実施もありうる					
授業の目標	本科目を履修することにより、皮膚科学の基礎であり、エステティックの基礎であるクレンジングから肌分析、マッサージ、フェイシャル機器、パック、整肌ができ、高齢者や様々な悩みをもった方への対応も学び実践できる。カウンセリングを通してモデルに合ったトリートメントプランの組み立てや施術、幅広い年齢層のお客様にスキンケア・栄養・生活面ができる。					
時間外学習（予習・復習）	授業で学んだことをウィッグやモデルを使いながら復習する。なお、各回の復習には概ね60分～90分程度行い、次の授業の際に技術が戻らないように定着させておくこと。					
教科書・教材	教科書		教員作成資料、配布プリント			
	教材		なし			
	使用設備・備品		フェイシャル実習室			
	参考文献		なし			
評価方法	平常点20%（小テスト、身だしなみチェック、提出物等含む） 試験80%					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。					
履修上の注意	授業中の居眠りや私語など他の学生に迷惑がかかる様な行為が目立つ場合は欠席扱い又は実習室を退出させる場合もある。 ※①～④の認定エステティシャン資格取得の為にはフェイシャルエステティック・エステティックⅡ・エステティック理論の履修が必要。					
本科目履修と関連する資格	資格名	①日本エステティック協会 認定エステティシャン資格 ②日本エステティック業協会(AEA) 認定エステティシャン資格 ③特定非営利活動法人 日本スパウエルネス協会 認定エステティシャン ④一般財団法人 ICAM JAPAN 認定エステティシャン				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第 1 回	オリエンテーション、フェイシャルカウンセリング、機器選択を含んだカウンセリングシート作成方法を理解する	試験に対応したカウンセリング方法、カルテ記入の方法を習得し実践できる。	カウンセリングをスムーズに出来るよう機器の注意点、禁忌事項をノートにまとめておく
第 2 回	フェイシャルカウンセリング、機器選択を含んだカウンセリングシート作成する	試験に対応したカウンセリング方法、カルテ記入の方法を習得し実践できる。	カウンセリングをスムーズに出来るよう機器の注意点、禁忌事項をノートにまとめておく
第 3 回	フェイシャル機器（エレクトロ）使用手順と効果を理解する	エレクトロ機器を使った効果と手順を理解し、正確に行うことができる。	エレクトロの効果・注意点・禁忌事項を予習しノートにまとめておく
第 4 回	フェイシャル機器（エレクトロ）実践する	エレクトロ機器を使った効果と手順を理解し、正確に行うことができる。	エレクトロの効果・注意点・禁忌事項の不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第 5 回	フェイシャル機器（ディープクレンジング）種類を理解し選択方法を学ぶ	ディープクレンジング効果と手順を理解し、正確に行うことができる。	ディープクレンジングの種類・効果・注意点・禁忌事項の不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第 6 回	フェイシャル機器（ディープクレンジング）各種類を実践する	ディープクレンジング効果と手順を理解し、正確に行うことができる。	ディープクレンジングの授業で理解できなかった部分について復習する。
第 7 回	フェイシャル機器（エレクトロクレンジング）種類を理解し選択方法を学ぶ	導入化粧品と機器の効果、手順を理解し、正確に行うことができる。	導入の効果・注意点・禁忌事項を予習しノートにまとめておく
第 8 回	フェイシャル機器（エレクトロクレンジング）各種類を実践する	導入化粧品と機器の効果、手順を理解し、正確に行うことができる。	導入の効果・注意点・禁忌事項を把握し不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第 9 回	フェイシャル機器（パター）を理解し手順を学ぶ	パター機器を使った効果と手順を理解し、正確に行うことができる。	パターの効果・注意点・禁忌事項を予習しノートにまとめておく
第 10 回	フェイシャル機器（パター）を実践する	パター機器を使った効果と手順を理解し、正確に行うことができる。	パターの効果・注意点・禁忌事項を把握し正しく施術できるようにしておく
第 11 回	フェイシャルカウンセリングにより正しい機器選択からフェイシャルマッサージを学ぶ	肌質を理解しメニューの決定選択を正確に行う。6手技を滑らかに行うことができる。	皮膚科学の肌別対応を復習しメニュー組み立てを正しく選択し、時間内で施術できるように練習する。
第 12 回	フェイシャルカウンセリングにより正しい機器選択からフェイシャルマッサージを実践する	肌質を理解しメニューの決定選択を正確に行う。6手技を滑らかに行うことができる。	皮膚科学の肌別対応を復習しメニュー組み立てを正しく選択し、時間内で施術できるように練習する。
第 13 回	正しい機器選択からモデルにあったフェイシャルマッサージの手技を実践する	肌質を理解しメニューの決定選択を迅速に行う。目的に合った化粧品を選択し6手技を滑らかに行うことができる。	皮膚科学の肌別対応を復習しメニュー組み立てを正しく選択し、時間内で施術できるように練習する。各マッサージ材の特徴を確認する。
第 14 回	正しい機器選択からモデルにあったフェイシャルマッサージの手技を実践する	肌質を理解しメニューの決定選択を迅速に行う。目的に合った化粧品を選択し6手技の効果を理解して調整しながら行うことができる。	皮膚科学の肌別対応を復習しメニュー組み立てを正しく選択し、時間内で施術できるように練習する。マッサージ6手技の効果や技術ポイントを理解する。
第 15 回	口頭試問（フェイシャルマッサージとフェイシャル機器）対策を実施する	口頭試問で出題されるそれぞれの効果、禁忌、注意点を正確に述べることができる。	化粧品、機器の効果、禁忌、注意点を正確に把握しノートにまとめる。

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第 16 回	カウンセリングの手順を理解する	カウンセリング方法、カルテ記入の方法を習得しカウンセリングできる。	前回までの復習と予習：高齢者を含んだ異年齢の方へのカウンセリング方法を確認を行う
第 17 回	カウンセリング時に必要なホームケアアドバイスを理解する	カウンセリング方法、カルテ記入の方法を習得しカウンセリング出来る。カウンセリングシートを作成出来る。	前回までの復習と予習：高齢者を含んだ異年齢の方へのカウンセリング方法を確認を行う
第 18 回	カウンセリングを実践する	カウンセリング方法、カルテ記入の方法を習得しカウンセリングできる。	前回までの復習と予習：様々な方へのカウンセリング手順とカルテ記入方法の確認を行う
第 19 回	カウンセリングとモデルに合ったホームケアアドバイスを行う	カウンセリング方法、カルテ記入の方法を習得しカウンセリングできる。	前回までの復習と予習：様々な方へのカウンセリング手順とカルテ記入方法の確認を行う
第 20 回	クレンジング～カウンセリング～ディープ～機器～マッサージ～パックを実践する	試験と同様の内容の技術の一つ一つ確認しながら習得し実践できる。	前回までの復習と予習フェイシャルトリートメント実技試験の流れ確認を行う
第 21 回	クレンジング～カウンセリング～ディープ～機器～マッサージ～パックを実践する	試験と同様の内容の技術の一つ一つ確認しながら習得し実践できる。	前回までの復習と予習フェイシャルトリートメント実技試験の流れ確認を行う
第 22 回	クレンジング～カウンセリング～ディープ～機器～マッサージ～パックを実践する	試験と同様の内容の技術の一つ一つ確認しながら習得し実践できる。	前回までの復習と予習フェイシャルトリートメント実技試験の流れ確認を行う
第 23 回	クレンジング～カウンセリング～ディープ～機器～マッサージ～パックを実践する	試験と同様の内容の技術の一つ一つ確認しながら習得し実践できる。	前回までの復習と予習フェイシャルトリートメント実技試験の流れ確認を行う
第 24 回	クレンジング～カウンセリング～ディープ～機器～マッサージ～パックを実践する	試験と同様の内容の技術の一つ一つ確認しながら習得し実践し技術ポイントを理解出来る。	前回までの復習と予習フェイシャルトリートメント実技試験の流れ確認を行う
第 25 回	クレンジング～カウンセリング～ディープ～機器～マッサージ～パックを実践する	試験と同様の内容の技術の一つ一つ確認しながら習得し実践できる。各技術のポイントを述べる事が出来る。	前回までの復習と予習フェイシャルトリートメント実技試験の流れ確認を行う
第 26 回	フェイシャル実技模擬試験を実施する	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確に行うことができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメント実技試験の流れと口頭試問の確認、実技練習を行う
第 27 回	フェイシャル実技模擬試験を実施する	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確に行うことができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメント実技試験の流れと口頭試問の確認、実技練習を行う
第 28 回	レベルチェックを実施する	時間内に技術を終え、かつ的確に質問に答えることができるようになる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメント実技試験の流れと口頭試問の確認、実技練習を行う
第 29 回	技術まとめと復習を行う	センター試験の内容に沿ってフェイシャル実技試験を行い、自分の弱点を知り改善することができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメント実技チェックでの振り返りをまとめる
第 30 回	技術まとめと復習を行う	センター試験の内容に沿ってフェイシャル実技試験を行い、自分の弱点を知り改善することができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメント実技チェックでの振り返りをまとめる